



令和7年2月17日(月)発行

校長 栗原 友恵

北九州市小倉北区昭和町16番1号

HP: www.kita9.ed.jp/nakashima-e/

TEL: (093) 921-1690

<学校教育目標>

体・徳・知 調和のとれた心身ともに健康な子どもの育成

<目指す子ども像>

○相手の立場に立って考える思いやりのある子ども

○すすんで学び、自ら考え、表現する子ども

○元気に学び、すすんで運動に取り組む子ども

<目指す学校像>

○安全な学校 ○温かい学校

○笑顔があふれる学校

○「中島小大好き」と言える学校

○成長(学習)し続ける学校

○保護者・地域・関係機関と連携する学校

昔の道具と人びとの暮らし(3年生)

3年生の社会科の学習では、今使われている道具が昔はどんな形や使い方をしたのかを学んでいます。その中で1月27日(月)の1・2校時、七輪について実際に体験しました。今回、保護者の方や地域の方々が10名もお手伝いに来てくださり、各グループに1名見守りについていただいて、楽しく安全に実施することができました。はじめはなかなか火が付かず、大苦戦。みんなで交代しながら一生懸命うちわであおぎ、無事、全ての七輪の炭に火をつけることができました。「昔の人たちの大変さが分かった」「今と比べて時間と手間がかかる」など、昔の人々の暮らしを実体験できました。また、3校時には、地域の方に昔の遊び等の話をしていただきました。

本単元は、3年生で扱う歴史的な内容です。したがって、子どもが事実を的確につかみ、調べることができるように、見学や聞き取り調査、体験活動など具体的な学習展開が必要となります。そこで、古くから残る暮らしに関わる道具を調べることで、より具体的に社会的事象を捉えることができると考えます。

昔の道具を実際に使う体験学習では、その当時の人びとの生活の様子に触れたり、道具に込められた知恵や工夫を発見したりすることができます。また、現在の自分たちの暮らしと比較することで、違いや苦勞、その当時の人びとの努力や工夫などを考えることができます。自分たちの学習してきたことを年表にまとめることで、時間の経緯に沿って移り変わりの様子を整理し、今昔の違いや変化をとらえることもできます。

指導にあたっては、古くから残る暮らしにかかわる道具を実際に触ったり使ったりすることで、昔の道具に対する関心が高まるようにするとともに、道具の形などには、工夫や知恵が隠れていることに気付くことができるようにします。

また、体験的な活動の際には、その当時の人びとの苦勞や不便さばかりに意識が向いてしまわないように、現在の道具と比べて同じような役割を果たす知恵や工夫を考え、先人の知恵や工夫が現在の暮らしを支えていることに気付くことができるようにしています。

1月24日から1月30日までは、全国学校給食週間です

我が国における学校給食は、明治22年に始まって以来、各地に広がっていましたが、戦争の影響などによって中断されました。

戦後、食糧難による児童の栄養状態の悪化を背景に学校給食の再開を求める国民の声が高まるようになり、昭和21年6月に米国のLARA(Licensed Agencies for Relief in Asia:アジア救済公認団体)から、給食用物資の寄贈を受けて、昭和22年1月から学校給食が再開(「学校給食実施の普及奨励について」昭和21年12月11日文部、厚生、農林三省次官通達)されました。昭和21年12月24日に、東京都内の小学校でLARAからの給食用物資の贈呈式が行われ、それ以来、この日を学校給食感謝の日と決めました。昭和25年度から、学校給食による教育効果を促進する観点から、冬季休業と重ならない1月24日から1月30日までの1週間を「学校給食週間」としました。

子供たちの食生活を取り巻く環境が大きく変化し、偏った栄養摂取、肥満傾向など、健康状態について懸念される点が多く見られる今日、学校給食は子供たちが食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けるために重要な役割を果たしています。

学校給食週間においては、このような学校給食の意義や役割について、児童生徒や教職員、保護者や地域住民の理解を深め関心を高めるため、全国で様々な行事が行われます。学校給食週間においては、このような学校給食の意義や役割について、児童生徒や教職員、保護者や地域住民の理解を深め関心を高めるため、全国で様々な行事が行われます。(文部科学省抜粋)

中島小学校の取組 1月27日(月)~1月31日(金)

- * 各学級で・・・調理士さんに感謝の気持ちを寄せ書き風にし、職員室前の廊下に貼る。
- * 給食委員会による給食時間の放送
 - 27日(月) 校長先生の話・調理士さんのインタビュー
 - 28日(火) 寄せ書きの紹介①
 - 29日(水) 寄せ書きの紹介②
 - 30日(木) 給食ができるまで(ビデオ放送)
 - 31日(金) 栄養教諭の先生の話
- * 給食フェスティバル 29日(水)・30日(木)・31日(金)の昼休み
給食委員会による4つのゲーム(豆つかみ・給食じゃんけんくじ・給食クイズ・給食ビンゴ)

給食ができるまでには、食材を作ってくれる人、その食材やごはん・パンなどを届けてくれる人、食べ物を調理してくれる調理士さんなど、たくさんの方々が関わってくださっています。そのおかげで、私たちは毎日、元気に過ごすことができます。人は、食べ物を食べないと生きていくことができません。そして、その食べ物は、全て生きている物です。私たちは、食べ物の命をもらって生きています。給食週間の取組を通して、子どもたちには、毎日の給食に感謝して残さず食べる習慣を身に付けてほしいと思います。